

# ホンマチチャレンジ（本町通り）を盛り上げるためのアイデア

第4回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

子どもが通り真ん中で遊んだり勉強したりしている様子を、両側のお店を利用しながら見守るお年寄りや、軒を連ねる建物内で仕事をしている親が見守れるような、そんな日常の風景が生まれたらと思う。

地域内での商業・子育て・つながりのサイクルをこの商店街から歴史をなぞりつつ、生まれていけばいいと思う。

就学前児や小学生や中学生や高校生や大学生が、日常的に必然的に本町アーケードや銀座通りを通るきっかけが作れないか…子どもの声はいいもの。

子どもが楽しめるアンパンマンショーなどのイベントをやれば若者なども来ると思う。若者の流行りのブランドなどの店を呼べたら活気づくと思う。

塾でも子どもがいる風景はいいもの（塾ばかりは困るが）

例えば空き地にモバイル型木造ハウスを設置して、通りに移動もさせる。ハウスは一定期間、小さな仕事をする人が住み仕事をするような大胆な取組が不可欠では。

一宮出身者など全国にいる縁ある人に対して一宮ファン、一宮アンバサダーになってもらう仕組みをつくる。

大学や企業とコラボしたイベントを打つことで学生や社員がまちづくりに参加する側になってくれると嬉しい。

毎週、マルシェ、フリーマーケット、音楽イベント、スポーツイベント、展示会、ギネスチャレンジなど色々なアイデアでこの空間を活かす催しをやってもらってにぎわいを恒常的にしていきたい。企画・運営するのは各企画の主催者で、商店街の方に負担を強いることはしない。

まちの宮市もさらに定着させるために、毎月第〇日曜とか決めた方がいいと思う。

# ホンマチチャレンジ（本町通り）を盛り上げるためのアイデア

第4回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

コスプレに力を入れてみてはどうか？せっかく来る人を取り込もうとしていない気がする。コスプレの服はほとんど手作りなので、専用の布を売る。撮影スポットを作るなどできるのではないかな。

アーケード柱に尾州ロリィコスプレしてもらったらどうか？  
(名駅のななちゃん人形みたいに)(真清田神社はコスプレの聖地化してるみたい)(柱で推し活！?)

キッチンカーを運営している。本町アーケードの下でキッチンカー数台常時出せるエリアを提供頂けるならチャレンジしたい。

ビジネスホテル代に900円上乗せして販売、本町商店街で1000円使えるお食事券を発行。差額100円は店舗負担というのは如何か？各店舗前に小規模なテーブル出すより30席くらいまとめて出し、配達できたほうがインパクトあると思う。

歩道に席があるのは、一休みできていいと思う。そこで、食べるおやつやお菓子を前のお店で売って貰えるといい一休みになる。

やっぱり食べ歩きが良いと思う。でも、店舗に入ってくつろぐ空間も必要だと思う。食事は落ち着いて食べたいが、チュロスをかじりながらブラブラすることができるのが良いと思う。両方同じくらいあったら良いのでは？

西村浩さんの「隠れて食べる」その通りだと思った。  
酔っぱらってしまえばいいんだけどちょっと食事では人目を気にしてしまう…

今もそうですが昼も夜も陰気。外でお茶するのはつらそう。

季節的に寒い季節なので暖かい季節に路上で是非食事などしてみたい。

なぜホンマチチャレンジが冬なのか？寒いから盛り上がらない。季節を考えた方がいいと思う。

寒い時期は店前にテーブルと椅子だけではなく尾州生地のこたつ席も良いかも♪

# ホンマチチャレンジ（本町通り）を盛り上げるためのアイデア

第4回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

安藤さんのおっしゃるように、私にも本町アーケードはカッコイイ、あって便利なもの！という印象。

一宮地下駐車場の歩行者用出入口から本町アーケードの部分にかけて、歩道部限定で屋根をつけると良いと思う。これによって、「駅から市役所まで雨に濡れずに行ける」ということが実現できる。

門前町とするなら、アーケードが途中で、きれているのは残念。京都の錦市場のような特徴付が欲しい。

せっかくアーケードがあるのでお店の前を使う取り組み、素晴らしい！少しずつ継続して成長していけたらいいのでは、とお店を応援したい。駅と本町商店街、真清田神社を繋ぎたいので…

本町アーケードは、なぜ真清田神社直前の数百メートル（本町一丁目）にはないのでしょうか？

まず第一に必要なのは1丁目にアーケードを設置することで「屋根があり、幅もある500mの商店街」を売りにして様々なイベントを呼び込んでいきたい。

真ん中を通らないかつての参道と今あるべき一宮ならではの参道を考えていくと素敵な空間が自ずと生まれてくると思う。

本町商店街は、道路があり幅が広すぎるのでにぎわいを感じるにはかなりの人手が必要…

商店街の道が広すぎるのを逆に利用して、福岡、博多の夜屋台のように、真ん中に屋台を並べるのはだめか？週末だけでも、サイドの店と相乗効果になるのかなあと。

本町アーケードの幅員はいつからの幅？(昔の街道筋の四間はもっと狭い)

商店街の歩道をウッド調、道路をレンガ、グレーチング変更、柱を緑（造花巻きつけるとか）にする、灯りをもっと明るくすとか色を変更、これら考えてもらうこと出来ないか？

# ホンマチチャレンジ（本町通り）を盛り上げるためのアイデア

第4回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

一番は商店街に魅力ある店が集まって…というのが理想ではある。けど、現実には中心市街地に固定の店を構えて維持していく難しさに直面している状況が長く続いている。

人の流れが生まれてこれば既存の店の励みにもなるはず。新しく出店を考える人たちも出てくるかと思う。

西村浩さんの商店街店主たちのこだわりを語る会は聞きたい。

商店街の生の声を聞いたのがよかった。顔が見えると、お店にも行ってみようかなと思える。

「西村浩さんが来てシンポジウムやる」ってだけでも今日、本町アーケードに来る人がいる。

マルシェなど各イベントで本町アーケード下の利用はとても便利で市民にも定着してると思う。

イベントだけでは、恒常的な集客は難しいが、商店街の集客に寄与する業態はあるのか聞いてほしい。

花火的なイベントだけで日常風景を構成する商店街の店が閉まっていて、参加していないように感じる。

利用していない空き店舗、空間を積極的に貸し出すようオーナーを地道に説得してほしい。やる気のある人が来れば活気が日常的に出てくると思う！

まず、オリナスの内外を自由に使える様にして、見本が出来ないのかと思う。利用料が高いなどあるかもしれないが、恐らくココで起こる問題、壁が商店街でも解決すべきモノが詰まっている気がする。

# ホンマチチャレンジ（本町通り）を盛り上げるためのアイデア

第4回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

真清田神社の周りの“特殊”なお店の跡、どうにかならないかなあと通る度に思う。  
(見苦しいとかではなく面白い歴史だったのに…と残念に思う気持ち)  
(本町アーケードや銀座通りからは外れるが)

神池を整備して、散策したくなるエリアに。有料で鯉のエサを置いてもいい。

真清田神社の龍神伝説にちなんで、大きな龍のモニュメントを建てる。  
(どこかの球団の必勝祈願に来たりとか七つの球を携えて龍に願いを告げる人とか…来るかも)

真清田神社そのものにもシンボリックなものをつくることもひとつのアイデアだと思う。

構造的にはアーチ状の“垂れ幕”を各ポールに下げ、4丁目からみたらいくつもの鳥居をくぐって真清田さんに至る。神戸ルミナリエの様な光まではいらないものの、空間を彩り作る事は出来るかもしれない。

駅から商店街や真清田神社の看板や鳥居のモニュメントがあると初めて来た方もぞいてくれるのではないかな。

歴史を辿るストーリー(UFJ銀行の城跡~真清田神社の動員など)をデザインした標示で歩行者を誘導する仕掛けを是非やってほしい！

星野さんの話にあった吊るす鳥居は素敵だと思う。

参道の雰囲気を出していく、という考えはいいと思う。それで以前から意見で出されている駅や通りに「真清田神社への案内板」を出すことは、すぐできることだと思うが。

真清田神社に向かう人の流れをつくりたい、というのはこの会議のメインテーマ。神社に誘導していく雰囲気づくりは大事だと思う。

鹿児島島の照國神社の事例など、もし良い門前事例があればご紹介いただきたい。

# ホンマチチャレンジ（本町通り）を盛り上げるためのアイデア

第4回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

ホンマチチャレンジ、告知が足りない。

ホンマチチャレンジ、今日初めて知った。いかに周知が悪いか、本町の一部の方だけのチャレンジのように思う。西村さんのお話が一番よくわかった。

一宮駅徒歩圏内居住でBISHUフェスなど欠かさず足を運んでいるが、チャレンジで何をしているのかイメージできず、行きたいと思うきっかけにならない…

今日集まってる人は一宮駅の東にロータリーがあって、その向こうにアーケード商店街があって、その北の突き当たりに真清田神社があることは当然の感覚だけど。よそからの訪問者や一宮に住み始めた人は意外と知らない人も多い。そういう案内ができていない街だから。

今日の内容は、オンライン配信していたのか？一宮駅のスクリーンに同時配信され、ニコ動のようにコメントが映るといい。その映像を見ながらビールを飲みワイワイ盛り上がるのもいいな。

せっかくケーブルテレビICCがあるので、毎週金曜日の「街ネタプラス」生放送の天気予報のように、毎週〇曜日(または3・8の日)に生中継してみてもいい？

ベリーダンスの様子などインスタなどをもっと活用したらいいと思う！

映画BISHU見た！真清田神社とファッション(織物の神様)  
障害の有無に関係なく優しいまちといったコンセプトでPRしてもいい(^ ^)

まずはアーケード柱のポスターから。

# ホンマチチャレンジ（本町通り）を盛り上げるためのアイデア

第4回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

いま現在もそうだけど、本町商店街で何か楽しいイベントをしても銀座通りがいつもと変わらない風景だと、駅にいる人たちには何も伝わっていない。

本町商店街だけ何かがんばっても、駅から見たときに何も伝わってない。

銀座通りも含めて駅から真清田神社までの流れをつくるウォークブルエリアをつくっていききたい。

銀座通りもほこみちを転用したにぎわいを創って、人の流れをつくっていききたい。

すぐにはできないけど、地下駐車場を商店街に改造。駅から銀座通り（地下）を經由して本町通りに人の流れをつくれたら。

名古屋市の長者町通(衰退した元・布問屋街)では、あいちトリエンナーレ(当時名称)をきっかけに、有志で作った木造ベンチが今も使われている。

名古屋の円頓寺商店街も最初は点から始まってだんだん面になっていった(パリ祭などで若者が集まるまちになった)と思う。

豊川稲荷では、四半期に一回レベルだが夜市を開催している。昼間に名古屋で仕事や遊びで行って、一宮駅に帰ってきたらそのまま家に帰ってしまう。夕方の人流を本町商店街に引き込む方策が必要。一過性のイベントかも知れないが、月一回レベルで真清田神社で夜市を開催してはどうか？

名古屋テレビ塔とかだと定期的に「ひやくにんかいぎ」とか「階段マラソン」などやっている。

浅草の女将さん会のように女性のたくましい力を結集できれば、面白い賑わいができるように思う。

# ホンマチチャレンジ（本町通り）を盛り上げるためのアイデア

第4回シンポジウムで寄せられた会場からの意見や感想を紹介します。

少しずつは大切だけど、大きく変わらないと難しそう。

昔、堀繁さんのお話で「賑わいとは密度だ」というのを聞いたことがある。  
西村浩さんがおっしゃる「集中的に盛り上げる」のはそういうことなのかなと思った。

短期視点ではなく時間を掛けても長期的に取り組んでいくべき取り組みだと思う。

アパホテル駐車場で聞いた出村嘉史さんの三八市からはじまった街の歴史の話が塚越啓陽さんのお話で補完されたなあと思った。

「門前街なのに歴史が感じられない」のは戦火で焼けてしまったという歴史もある…道や川の線形で感じられることもあるが、門前の町割りは戦後土地改良事業などで変わってしまった？

賑わいをターゲットに据えるのみではなく、珍しいことや本当に必要な試みを進めてみて、結果として情報があふれて、賑わいも創出するような流れも必要ではないか。

まずは人気のある一店舗から始まるので、諦めず頑張ってもらいたい。

「あそこに行けば何かやっているよね」という街の習慣化・市民の意識変化があれば良い。

いつも反対派の意見を代表して言わなければいけない？ 冨田さんから「本当に賛同、共感することが多く、意見がまとまりつつある」とお言葉をいただいたのは嬉しい。

名畑恵さん名司会・MCだけでなく、素晴らしいまとめありがとうございましたm(\_ \_)m